



日本共産党区議会議員
こんにちは
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952
足立区役所 電話3880-5111(内線4650~4654)
日本共産党区議団 直通3880-5770
<http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html>

いのち・暮らしを守るため 全力投球！日本共産党

2月22日から足立区議会 第一回定例会はじまる

大震災・原発事故という未曾有の体験から国民の願いを踏みにじる政治に怒りの声が広がっています。民主党政権の下で新しい政治の国民的探求が続く中で足立区議会第一回定例会が2月22日から3月27日まで開かれます。



住民とともに放射線量測定を行う
伊藤区議と大島都議 2011.11.6

日本共産党は大震災と原発事故の教訓を生かし、区民のいのち・暮らしを守る新しい区政の第一歩をすすめる積極的提案も行い全力をつくします。

足立区の近藤やよい区長は1月24日、区議会全員協議会で「明日のために時代の变化に挑む！」と題する「平成24年度予算編成のあらまし」を発表し区議会議員に説明しました。

従来の枠にとどまる消極的な姿勢
しかし「明日のために」とか「時代の变化に挑む」といいますが、いま福島原発事故を契機に世界的に求められているエネルギーの転換・自然エネルギーの導入ではこれまでのLEDでの節電の推進や、太陽光発電設置補助を上乗せし350件から500件に増やすなど、このこれまでの枠の延長上にとどまり、

とても時代の変化に挑むと言えるものではありません。
子どもたちのための保育所整備に乗り出すが…
区長は区民の強い要望に抗しきれず、これまで拒否してきた認可保育園の増設に、やっと乗り出しますが不本意であるらしく、本来なら「明日を開く事業」として誇らしく大きく打ち出すはずのものですが、小さく分らないように載せているのが特徴です。

日本共産党代表質問 2月23日(水)午後1時 鈴木けんいち議員

代表質問は、原発・放射能・自然エネルギーについて、新年度予算案、介護保険・国保料値上について、学校統廃合、保育・子育て、学童保育、障害者施策、交番設置などについて質問します。

一般質問 2月24日(金)午後2時20分頃 針谷みきお議員

一般質問は、震災対策(津波、液状化対策、木造住宅、要援助者対策)、住宅リフォーム助成、竹ノ塚駅立体化、舎人ライナーについて質問します。

議会の傍聴にご参加ください。
問い合わせは日本共産党足立区議団
区議会控室
・電話3880-5770直通



23区受け入れかれき

2月10日、足立区の環境部・計画課は宮城県女川町のがれき受け入れについて、住民説明会が2月7日夜に足立区役所で都、東京23区清掃一部事務組合、足立区の3者が合同して開催。110人が参加したと報告がありました。健康への影響を心配した参加者から終了後に主催者側に詳しい説明を求める場が起きました。説明会は約一年間かけて女川町のがれきを、来年3月まで約5万トンを超えて都内19の清掃工場に焼却するとして、足立清掃工場でも受け入れることになったものです。すでに昨年12月に試験焼却を行った大田区、品川区の結果、がれきに含まれる放射線セシウムの濃度が国の基準値以下だったと説明しました。「子どもへの影響は本当はないのか」「焼却ありきの説明会で疑問に答えようとしていない」など意見が出され、区は区民を対象にした説明会を2月29日(水)午後6時半から8時半まで、区役所内・庁舎ホールで定員150名(先着順)、対象は区民(在住・在勤者)で開催すると発表しました。あだち広報2月25日号、区ホームページ等で周知するとしています。



生業資金の廃止
まちづくり公社の廃止
足立東清掃事務所の廃止
生きがい奨励金の削減
シルバー人材センター委託時間の縮小

区立保育園の廃止・民営化
学校開放の有料化など廃止・削減のオンパレードです。

国保料の値上げ
介護保険料の値上げ
後期高齢医療保険料の値上げ
も4月から実施される計画です。

区長は「区財政に黄色信号が灯った」
「20年前とは人口構造が変化している」などを理由にあげていますが理由になりません。日本共産党は区民の願いをもち込んだ対案を示して論戦を展開します。

廃止・削減の オンパレード

その一方で「痛みが生じること」は当然予想されますが」と述べ、区民サービスの切り捨てを宣言しています。

野外レクリエーションセンターの廃止

議会の傍聴にお出かけ下さい。

介護報酬改定後の保険料試算額 (1月18日区検討資料・基準月額)	
介護報酬	保険料
改定なしの場合	5490円
1・2%改定の場合	5560円
2・0%改定の場合	5610円
3・0%改定の場合	5670円
(現在は基準月額4380円)	

次期(2012年4月からの) 介護保険料 5490円～5670円 (基準月額) 4案示される



「仮の試算額」ではあるが、区は、介護報酬1・2%引き上げはあくまで全国平均

共産党「値上げすべきでない」と主張
対案も提出
1月18日開かれた足立区議会厚生委員会では、国が介護報酬の1・2%引き上げや調整交付金係数の変更、都が財政安定化基金を3億円余交付すると通知してきたことなどを受け、2012年4月からの介護保険料について基準月額を現在の4380円から5460円、5670円とする4案を示し報告しました。

1月・厚生委員会に区が報告 現在の基準額より月千円以上の値上げ 大変な負担増 2月の「審議会」をへて2、3月の区議会で決定か

均のもので、保険料算定にあたっては地域(自治体)ごとに異なってくるのでこの4案もあくまで仮の試算額で今後変化する可能性のある数字だと強調しました。そして今後2月の「審議会」に「確定値」を示したうえで、3月の議会で議決して決定される見通しです。しかし、たとえ「仮の試算額」であつてもそれほど隔たった数値ではありえませんが、区民のみならずにお知らせし、ご意見を募るものです。

現在は4380円
現在の第1号被保険者(65歳以上の区民)の基準月額は4380円ですが、今回の保険料試算額は、いずれも1000円以上の値上げとなる大変な負担増です。委員会で日本共産党はこのような負担増は認められない、値上げはすべきでない、質疑を行いました。他党の議員は何も発言

しませんでした。そればかりか自民党議員の委員長は共産党の発言、質疑を途中で封殺することまで行ないました。

最大の欠陥は「際限のない保険料の値上げ」です。高齢者が増え、介護給付(ヘルパー派遣や介護施設など)が増えれば自動的に保険料が上がっていく仕組みで「介護を受けたければ高い保険料を受け入れよ」「高い保険料がいやなら介護は受けられないがまんしな

実際の値上げ
全国紙も「このままでは制度の存続むずかしい」
介護保険は12年からのスタート前年の2000年にスタートしました。日本共産党は介護を保障制度で行なうことには反対ではありませんが、スタートした介護保険は「重大な欠陥」を持っておりこのままでは欠陥車が道を走るようなものだ指摘し法案には反対しました。

「重いつらい」
「悪魔のサイクル」とでもいべき仕組みです。

国が制度を見直すとともに国、都、区が公費負担を増やすべき
日本共産党はこうした欠陥をただすとともに、国、都、区が公費負担を増やして保険料値上げを抑えるべきだ具体的な提案を提出

中低所得者に
重い負担
もちろん介護にはお金がかかりますし、その一部を保険料で支えることは必要です。しかし非課税の高齢者をはじめ、原則どんな低所得者からも保険料を過酷に徴収する一方で、所得が何千万円あつても「頭打ち」で割安です。

12月3日付の日経新聞は「介護保険料月5000円時代」「自治体、対応に苦慮」「今のままでは制度の存続が難しい。国が制度自体を見直す必要があるとの声も出ている」と書きました。

第1回足立区議会定例会日程

- 2月22日水 午後1時 本会議 (区長挨拶、自民、公明)
- 2月23日木 午後1時 本会議 (日本共産党・鈴木質問)
- 2月24日金 午後1時 本会議 (日本共産党・針谷質問)
- 2月27日月 午前10時 総務委員会
- 2月28日火 午前10時 区民委員会
- 3月1日から2日、5日、6日、8日、9日 予算特別委員会



しています。
区民のみなさんのご意見をお寄せください。
党区議団控室・直通
03(3880)5770